

2025年7月14日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙(SDGs 応援事業補助)

(宛先)
戸田市長

団体名 戸田市スポーツ療育実行委員会
代表者職・氏名 会長 野澤 茂雅
所在地

事業名	スポーツ療育イベント		
SDGs の 該当ゴール	SDGs ゴール 3 すべての人に健康と福祉を SDGs ゴール 17 パートナリーシップで目標を達成しよう		
確定前交付の希望	☒ 希望する		☐ 希望しない
連絡担当者	氏名		
	住所		
	電話		
	Fax		
	E-mail		
ホームページ	http://		
設立年月日	2024年5月1日 設立		
会員数	3人		
年会費	0円/1年間		
団体の目的	発達障害やその傾向にある子ども達向けにスポーツ療育イベントを開催し、安心・安全に楽しむことのできるスポーツの体験、心身の育成、運動能力の向上を図ること。		

主な活動実績	設立前の任意団体として、2023 年 12 月 3 日に、第 1 回スポーツ療育イベントを戸田第一小学校体育館（旧）にて開催。 戸田市スポーツ療育実行委員会として、2024 年 6 月 29 日に、第 2 回スポーツ療育イベントを戸田第一小学校アリーナにて開催。
これまでの補助金等の援助状況	2024 年度戸田市共創のまちづくり補助金（SDGs 応援事業補助） 44,814 円
団体PRなど	発達障害やその傾向にある子ども達向けにスポーツ療育イベントを実施し、安心・安全に楽しむことのできるスポーツの体験、心身の育成、運動能力の向上を図ることを目的として、2024 年 5 月 1 日に実行委員会を設立した。年に数回の開催を予定している。より多くの皆さんに体験して頂きたい。

《事業企画書》

1 事業の目的・必要性・課題

SDGsの該当ゴール：

3 すべての人に健康と福祉を。17 パートナリシップで目標を達成しよう

発達障害やその傾向にある子ども達は、通常のイベントや習い事には参加を拒まれることがあり、また、多くの人の中では行動を躊躇したり恐怖を感じたりすることがあります。

そのため、発達障害やその傾向にある子ども達向けに考案した運動カリキュラムを利用し、安心・安全に楽しむことのできるスポーツ療育イベントを開催します。

このイベントをとおり、参加した子どもたちにスポーツの体験や、心身の育成、運動能力の向上を図ることにより、「SDGs ゴール3 すべての人（参加する子ども達）に健康と福祉を」の健康の実現を目指します。

また、本イベント中に参加する子ども達への支援は、多くのボランティアメンバーが協力することにより、「SDGs ゴール17 パートナリシップで目標を達成しよう」の実現を目指します。

2 事業の具体的内容

あいパルホールにおいてスポーツ療育イベントを開催します。

日時：2025年8月10日(土)13時～16時、8月23日(土)13時～16時（全2回）

会場：あいパルホール

昨年度の反省を踏まえ、車イスを使用する子どもが参加しやすいように会場を選定した。

対象：発達障害やその傾向にある子ども達

受付：事前受付

上戸田地域交流センター あいパル電話(048-229-3133)または窓口

またはHP お問い合わせフォーム <https://www.ipal-friendship.net/contact/>

主催：戸田市スポーツ療育実行委員会

共催：上戸田地域交流センター（あいパル）

後援：戸田市（担当：市民生活部文化スポーツ課）、戸田市教育委員会

協力：一般社団法人日本凸凹支援スポーツ協会

発達障害やその傾向にある子ども達向けにスポーツを通して効果的なプログラムを企画、実施

内容：リズムダンス、凸凹ストーンサーキット、ボールフィーリング、サッカーの試合

※イメージ写真はチラシ参照

参加費：無料

定員：（各回）児童30名、保護者30名⇒（全2回）合計児童60名、保護者60名

運営体制：団体スタッフ5名、ボランティア5名

周知方法：公共施設へのチラシ配架、小学校特別支援学級へのチラシ配布、SNSでの周知

その他：一般の方の見学可

3 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
4月23日	事業計画作成、関係者協力者との調整開始
6月27日	実行委員会開催、チラシ作成
7月15日	戸田市教育委員会への後援申請、イベント情報公開
7月30日	実行委員会開催
8月10日、23日	スポーツ療育イベント開催

4 事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

参 加 者：発達障害またはその傾向にある子ども達および持病のある子ども達60名（身体障害者含む）、その保護者60名、スタッフ10名

開催後の変化：本事業を通して、子ども達の達成感や協調性を養い、生活能力及び社会性の向上を目指す。また、一般の方へ発達障害児の認識・理解の促進が期待できる。

そ の 他：参加者にアンケートをとり、満足度の調査を行い、また今後の開催につなげていく。

《収支予算書》

【収入】

科 目		予 算 額	内 訳
補助金・ 助成金	当補助金	50,000	
	その他	0	
自己資金		0	
会費		0	
利用者負担金		0	
協賛金・寄附		10,000	
その他		0	
合 計		60,000	

【支出】

	科 目	予 算 額	内 訳	
補 助 対 象 経 費	謝礼金	40,000	@10,000 円×4 名（日本凸凹スポーツ協会）	
	食糧費	6,000	飲み物代(スタッフ用 40 本×@150 円)	
	保険料	5,040	行事参加者傷害保険(傷害 2,520 円×2 日)	
小 計		51,040	内 訳	補助金申請額：50,000 自主財源：1,040
補 助 対 象 外 経 費	印刷製本費	1,655	印刷代	
	予備費	7,305		
小 計		8,960		
合 計		60,000		